

公益財団法人キラリ財団 令和8年度事業計画  
(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

1 公益目的事業

(1) 芸術文化振興に関する事業

令和8年度の文化芸術振興に関する事業は、当館の大規模改修工事に伴う、およそ9ヵ月の全館休館の中で開催する異例の取り組みとなります。このような状況の中でも、開館以来培ってきた、あらゆる場所・空間で様々な舞台芸術の鑑賞・体験プログラムを企画・実施してきた経験を活かし、劇場が市内の各地に出向いて行うアウトリーチ・プログラムを、以下の枠組みに基づき積極的に展開し、第2次富士見市文化芸術振興基本計画の基本理念にある、文化芸術の振興を通し市民一人ひとりの心豊かな生活と活力あるまちづくりに寄与してまいります。

ア 宮内康乃芸術監督による「富士見のまち回遊」

令和7年4月に就任した、宮内康乃芸術監督による『地域のアート・コレクティブの活動』（仮題）を、市内全域のフィールドワークを軸に、地域のコミュニティや芸能に芸術監督が直接接触する事業を展開します。併せて、各地域で実施する『オトノマド』や『わ・つむぎラボ』等のオリジナルのワークショップ企画を通じて、そこで出会う市民との交流を深めながら、多様な分野で活動する地域の人材や文化資源を発掘します。こうした活動を、大規模改修工事後のリニューアルオープン記念事業をはじめとする当館の様々な創造活動における、地域の人材や文化資源とのコラボレーションに繋げてまいります。

イ 親子が楽しめる海外作品の普及型公演

海外のアーティストによる親子が楽しめる作品、シアターブリック from デンマーク新作パフォーマンス『ポストカード』（仮題）を他の劇場や団体と連携して招聘上演します。館単独では招聘が難しい海外のアーティストとの事業を継続的に取り組みます。

ウ 子どもたちにむけた多彩なプログラムの展開

子どもたちが出会い交流する場を創出する『こどもステーション☆キラリ 2026』、コミュニケーション能力等を一層醸成していくための基礎的な芸術体験のプログ

ラム『きになる劇場、はじめの一步』や、演劇、音楽、伝統芸能のプログラムで構成する『小・中・特別支援学校へのアウトリーチ・ワークショップ』等の次世代へむけた事業を展開します。

#### エ 幅広い層の市民にむけた鑑賞・体験機会の提供

「キラリ☆かげき団」によるソングコンサートや、吹奏楽団「ハーツウインズ」によるコンサート等をラインナップした『連携アーティストによる地域コンサート』を、幅広い層の市民にむけて実施します。このコンサートは、これまでに当館に足を運ぶ機会が少なかった市民層が気軽に当館の文化芸術プログラムに触れられるように「ららぽーと富士見」等と連携し実施します。

事業名	実施日時期	会場
宮内康乃芸術監督による 地域のアート・コレクティブの活動(仮題)	通年	市内全域
宮内康乃芸術監督による 『オトノマド』『わ・つむぎラボ』	通年	市内公共施設等
劇場連携企画シアターブリックfromデンマーク 新作パフォーマンス『ポストカード』(仮題)	令和8年7月	市内公共施設等
『小・中・特別支援学校へのアウトリーチ・ワークショップ』	通年	市内 小・中・特別支援学校
『こどもステーション☆キラリ2026』	通年	市内公共施設等
『きになる劇場、はじめの一步』	令和8年4月/8月	市内公共施設等
『連携アーティストによる地域コンサート』	通年	市内商業施設及び 公共施設等

#### オ 施設貸与事業

「居ながら施工」で行われるこのたびの改修工事では、これまでの経験で培った施設・設備に関する専門性を活かした適切なサポートや、行政・施工業者との仲介や連絡調整により工事の円滑な進捗を支えます。

併せて、行政・施工業者との綿密な連携により、現場で起こる急な様々な事態にも臨機応変に対応します。

さらに、休館明けの施設提供の受付に関する情報を広く周知し、利用者が混乱することのないように努めます。

そうした取り組みを通じて、令和9年1月からのマルチホール、展示・会議室、展示室、アトリエ、スタジオの利用再開以降も引き続き、地域の文化芸術活動の拠点として、市民の文化芸術活動の発表・研鑽の場の提供に努めてまいります。

## (2) スポーツ振興に関する事業

外部講師を招き、気軽にご参加いただける軽スポーツの教室を開催し、地域住民の健康維持に寄与します。

## (3) 地域活性化に関する事業

日頃からまちづくりの分野で活動する市民や団体、福祉施設など幅広い地域住民同士が出会い、交流する機会を、宮内康乃芸術監督による「富士見のまち回遊」等の事業を通じて提供し地域の活性化に貢献します。

## (4) 図書館の管理運営に関する事業

「TRC（株式会社図書館流通センター）・キラリ財団グループ」として、富士見市立図書館市内3館（中央図書館・ふじみ野分館・鶴瀬西分館）の指定管理業務を新たに受託し、2年目をむかえます。施設維持管理業務及び予約資料配送業務を引き続き担当し、更なる事業展開を推進してまいります。

展示ホールを会場に定期開催している「ミニコンサート」は、来場者のアンケート結果等により高評価を頂いているものと認識しています。併せて、市内で絵画や陶芸等の創作活動を実践されている方々への展示発表の機会も積極的に提供してまいります。

「キラリ財団」が、これまで「キラリふじみ」で培った経験を活かして実践する図書館での文化芸術事業を通じ、これまで図書館へご来館の機会がなかった方へのアプローチを行うなど「富士見市立図書館」と「市民文化会館キラリふじみ」の更なる連携強化を充実してまいります。

## 2 収益事業

令和9年1月からのマルチホールをはじめとする一部施設の利用再開に伴い、以下の収益事業を行ない、公益目的事業資金の一部に充ててまいります。

### (1) 公の芸術文化施設の目的外利用への施設貸与に関する事業

「富士見市民文化会館キラリふじみ」の目的外利用への施設貸与にも柔軟に対応し、利用料収入の確保に貢献します。

### (2) 公の芸術文化施設における自動販売機等による収益事業

「富士見市民文化会館キラリふじみ」の利用者に対するサービスの一環として、利用者主催公演のチケットの窓口販売等を請け負い、手数料収益とします。

また、自動販売機(飲料水)の設置による販売会社からの設置手数料や利用者向けのコピー機設置等により自主財源の確保に努めます。

3 その他

定款に基づき資産の運用を図ります。

令和8年3月27日

公益財団法人キラリ財団  
理事長 森元 州